

令和4年度

高浜町教育委員会  
自己点検評価報告書

高浜町教育委員会

— 目 次 —

I	はじめに	..... 1
II	「点検・評価について（方法）」	..... 2
	①対象期間	
	②点検・評価の構成	
	③点検・評価の方法	
III	自己点検・評価シート	..... 3
IV	自己点検・評価シートに対する外部の知見	..... 7
V	全体総括	..... 10

## I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育委員会の権限に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、公表しなければならないこととされています。

教育委員会が地域の教育課題に応じた基本的な教育の方針・計画を策定し、これに即した事業を実施し、その後自ら評価を行い、結果を公表することにより着実に計画の実行を図ることができます。

高浜町教育委員会では、令和4年度教育委員会の事務の管理及び執行状況について内容の評価・点検を行い、教育に関する学識経験を有する方々の意見を付して報告書としてまとめました。

自己点検・評価を行うことで、今まで見えていなかった課題や不足していた部分が浮き彫りとなり、また教育行政に携わる一人ひとりが新たな視点を加えた中で事業に取り組むことにより、時代の変化に対応した教育行政の推進に資するものと考えております。

今回、自己点検・評価の取り組み内容を公表することで、教育行政のより一層の推進を図りたいと考えておりますので、住民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## Ⅱ 点検・評価について（方法）

### ① 対象期間

令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）

### ② 点検・評価の構成

評価項目について

令和4年度において実施した施策を、教育委員会の基本方針に基づき、

1. 社会の中で信頼と尊敬を得る人間性を育てる学校教育
2. 人権意識を高め、明るい町づくりに貢献する豊かな心を育てる人権教育
3. 新しい時代を生きぬき、創造する知性と教養を育てる生涯学習の推進
4. 青少年の健全育成とスポーツの振興
5. 郷土愛に満ちた文化創造の心を育てる文化振興

以上の5区分に分類し、それぞれに定めた重点方策により点検・評価を行いました。

### ③ 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、Ⅲ 自己点検・評価シートにより事業実施状況を把握するとともに、課題や方向性について評価を行いました。

各事業に対する取り組み度・実現度の評価方法は、下記の4段階評価としました。

- A・・・十分な成果がみられる
- B・・・おおむね成果がみられる
- C・・・成果もみられるが、今後検討を要し、さらなる取り組みが必要である
- D・・・成果がみられない

## 高浜町教育委員会の自己点検・評価シート（令和4年度）

### =基本方針=

- 社会の中で信頼と尊敬を得る人間性を育てる学校教育
- 人権意識を高め、明るいまちづくりに貢献する豊かなこころを育てる人権教育
- 新しい時代を生きぬき、創造する知性と教養を育てる生涯学習の推進
- 青少年の健全育成とスポーツの振興
- 郷土愛に満ちた文化創造の心を育てる文化振興

A = 十分な成果がみられる  
 B = おおむね成果がみられる  
 C = 成果もみられるが、今後検討を要し、さらなる取り組みが必要である  
 D = 成果がみられない

### 1. 社会の中で信頼と尊敬を得る人間性を育てる学校教育

NO	重点方策	自己評価	区分	説明
1	確かな学力の定着	A	実績	①小中学校に、町費単独採用講師を配置（7名）した。 ②小学校に、学習支援員を配置（4名）した。
			成果	①②町費単独採用講師や学習支援員を配置することにより、きめ細かな指導を実施することができた。
2	豊かな心の育成	A	実績	①小中学校に、教育相談員を配置（5名）した。 ②小中学校に、スクールカウンセラーを配置（3名）した。 ③高浜公民館内（はまなす教室）に、教育相談員を配置（1名）した。 ④小中学校の図書館運営を支援する学校図書館支援員を配置（1名）した。 ⑤キャリア教育の一環として、金融教育を実施した。 ⑥要保護児童の支援にあたり、児童相談所、保健福祉課等とのネットワーク強化を図った。
			成果	①②③各小中学校に教育相談員やスクールカウンセラーを配置することにより、児童生徒や保護者からの教育相談体制を整備した。 【相談件数】延べ6,624件 ④学校図書館支援員が、学校図書館の環境整備、図書資料を活用した授業の補助、学校と町図書館間の相互貸出を行った。 【相互貸出冊数】延べ644冊 ⑤近隣の金融機関の方を外部講師として招聘（2名）し、お金と金融の働きについての学習を行った。 【高浜中学校】67名（3年） 【内浦中学校】未実施 ⑥関係機関と連絡会議やケース会議などにより、要保護児童の早期発見やきめ細かな対応が可能となった。
3	健やかな身体の育成	A	実績	①地域スポーツ指導者（2名）を配置した。 ②各学校が策定する「食育に関する指導計画」に基づき、栄養教諭や給食センター職員による栄養指導（3回）や食育授業（50回）を実施した。 ③地場産食材を活用した給食や食育授業の実施のために、生産者と綿密に調整を図った。
			成果	①地域スポーツ指導者を中学校に配置することにより、専門的な技術指導ができた。 【出務日数】地域スポーツ指導者 延べ63日 ②栄養指導や食育授業により、児童生徒の「食」に対する理解を深める機会を提供することができた。 ③生産者との連携によって、地域産の食材の安定供給に寄与した。
4	教員の資質能力の向上	A	実績	①教員（1名）を、福井大学の教職大学院（ミドルリーダー養成コース）へ派遣した。 ②小中学校に、情報教育サポーターを派遣した。
			成果	①教職大学院への教員派遣で得たスキルを、他の教職員に伝達する取り組みを行った。 【派遣日数】延べ 35日 ②情報教育サポーターによる機器やソフトのトラブルの対応や、教職員の操作方法の習熟に寄与した。 【派遣日数】延べ120日

NO	重点方策	自己評価	区分	説明
5	幼児教育の充実	A	実績	①保幼小連携研修会を開催（1回）した。 ②各保育所へ外国語指導助手を派遣した。
			成果	①保育所現場と学校現場の情報交換により、相互理解が深まった。 ②幼児期からネイティブな英語に触れる機会を提供できた。
6	外国語活動の充実と国際理解教育	A	実績	①小中学校へ外国語指導助手（3名）を配置した。 ②生徒の保護者に代わって、英語検定料を負担した。
			成果	①外国語指導助手の指導により、児童生徒がネイティブな英語に触れることができた。 ②英語検定料の町費負担により、全ての生徒が受験できる環境を整えることができた。
7	特別支援教育の充実	A	実績	①特別支援学級に在籍する児童生徒（12名）の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を給付した。212,545円 ②小学校の特別支援学級に在籍する児童が中学校へ進学する際の移行支援会議を開催（1回）した。 ③学校調査員を対象に発達検査（田中ビネー検査）講習会（1回）を開催した。
			成果	①奨励費を給付することにより、特別支援教育に要する経費の保護者の負担軽減に繋がった。 ②児童生徒の個々に応じた支援方法について、保護者や関係者との合意形成を図った。 ③発達検査講習会を開催することにより、検査結果に正確を期すことができた。
8	教育環境の改善	A	実績	①高浜中学校大規模改修工事の設計業務を実施した。 ②高浜中学校テニスコート整備工事を着工、実施した。 ③小学校、中学校、高校への入学時の支度金に対する保護者支援のため、入学・新生活スタート応援給付金を支給した。 【給付件数】222件【給付金額】7,390,000円 ④中学校や高校への通学費に対する補助を実施し支給した。17,352,956円 【補助率】中学生通学定期代 10割（路線バスを含む） 高校生通学定期代 8割（スクールバスを含む） ひとり親定期代 10割 ⑤児童生徒の教材費無償化補助金を実施した。（6校+区域外就学児童生徒）14,695,651円 ⑥給食費の無償化を実施した。37,031,768円（贈材料費） ⑦町内から遠方の高校への通学のために入寮、下宿している生徒の入寮費に対する保護者支援のため、入寮費助成補助金を支給した。 【補助率】入寮費上限の8割（上限：5,000円） 【補助件数】13件 【補助金額】542,720円
			成果	①高浜中学校大規模改修工事に係る計画を策定することができた。 ②高浜中学校テニスコート整備工事に着手し、学校施設の環境改善および部活動とおとした生徒の健康増進、向上に寄与するための事業を実施した。 ③④⑤⑥⑦教育に係る保護者の経済的負担軽減に伴う家庭環境の安定化が、児童生徒の精神的な安定に繋がった。

## 2. 人権意識を高め、明るい町づくりに貢献する豊かな心を育てる人権教育

NO	重点方策	自己評価	区分	説明
1	人権教育の推進	A	実績	①ウクライナの子どもたちを支援するための募金活動に取り組んだ。 ②高浜町人権教育研究会の研究活動に対し、補助金を交付した。 ③敦賀市の「人道の港 敦賀ムゼウム」を訪問し、ユダヤ人救済やポーランド孤児受け入れの歴史を学んだ。
			成果	①③目に見えにくい新しいかたちの人権教育について、理解を深める機会を提供できた。 ②学習、研究活動を通じて、人権への理解を深める機会を提供できた。

### 3. 新しい時代を生きぬき、創造する知性と教養を育てる生涯学習の推進

NO	重点方策	自己評価	区分	説明
1	公民館事業の推進	A	実績	①4公民館において、一般教養、高齢者健康促進、子ども(親子)体験活動などの公民館講座(135講座)を実施した。 ②文化会館事業との連携を図り、文化会館の岩合光昭氏「ねこのとけい」写真展に合わせ、4公民館テーマを変えた写真を事前募集展示し、その中から選抜した写真を文化会館で同時展示した。
			成果	①公民館講座に延べ4,132名の参加があった。 ②各館で違うテーマの写真を募集することで、生き物や風景、笑顔等いろいろな種類の写真が集まり、子どもからお年寄りまで幅広い年代の方に見ていただき、文化会館の写真展示企画にも協力できた。
2	図書館図書の実と施設の利便性向上	A	実績	①貸出用図書を、新たに3,168冊購入した。 ②インターネットでの予約について周知した。 ③定期検診の際に、新生児に絵本をプレゼントする「ブックスタート」事業を実施した。 ④老朽や破損など廃棄対象となった蔵書等を町民に譲渡する「古本市」を開催した。
			成果	①話題の新刊等を幅広く購入することで多様なニーズに応えることができた。 【貸出冊数】63,929冊 ②継続的に読書に親しめる環境を周知することで利便性の向上につながった。 ③幼少期から本に親しみ、心を育てる情操教育に寄与する取り組みができた。 【配布実績】168冊(新生児1人当たり2冊) ④古本を希望者に譲渡することで、取蔵庫の適正管理を図ることができた。 【譲渡実績】1,813冊
3	国際社会に対応するまちづくりの推進	B	実績	①国際交流に対して意識の高い地域団体が実施する外国語講座や日本語教室の主催に対し、補助金の交付や運営支援を行った。 ②令和3年度から国内における英語に限定した宿泊プログラムであるイングリッシュキャンプの補助制度の対象学年を小学5・6年まで拡充し継続した。(参加者0名/昨年度2名)
			成果	①国際交流活動を支援することで、町民の国際理解や在住外国人の生活支援に寄与することができた。 ②児童生徒にとって、民間業者が企画する多くのプログラムの中から、自らにあったメニューを選び出す作業が負担となっているため、プログラムの特徴やアピールポイントなどを分かりやすく伝えるなどのサポートが必要となっている。
4	放課後児童クラブの充実	A	実績	①町内全学区区内4か所(高浜小・和田小・青郷公民館・内浦公民館)で放課後児童クラブを開設し、延べ10,668名の利用実績があった。 ②支援員を対象に、研修会(1回)を実施した。
			成果	①保護者の就労環境を保障する機能として、定着が図れた。 ②研修会会の確保により、保育の質の向上と事故の未然防止が図れた。

### 4. 青少年の健全育成とスポーツの振興

NO	重点方策	評価	区分	説明
1	青少年の心身の健全育成	A	実績	①スポーツ少年団(団体数 軟式野球3/和田1・高浜1・青郷1、ラグビー1、サッカー1、ミニバスケットボール男子1、同女子1、柔道1、バドミントン1、剣道1、バレーボール1 計11団体、団員数 小学生215/男子146・女子69、中学生2、高校生以上4 団員計221名)において、コロナ禍での感染防止対策や活動制限を受けながら、継続した活動を続けることができた。 ②青少年愛護センター補導員等による見廻り、見守り活動(延べ39日)を実施した。
			成果	①コロナ禍で行動制限や規制が多い中、スポーツ少年団活動を継続できたことで、子どもたちの意欲的な活動を支援することができた。 ②定期的な巡回活動により、青少年の夜間徘徊や不良行為につながる行動を未然に防ぐことができた。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、青少年高浜町民会議の5月恒例ふれあい広場は3年連続中止となったが、コロナ禍の状況が緩和された11月に代替イベントの「ふれあいステージShow〜笑〜」を開催し、地域交流の場を提供することができた。

NO	重点方策	自己評価	区分	説明
2	競技スポーツ、生涯スポーツの普及	A	実績	①スポーツ協会委託事業として、6種目(軟式野球、壮年ソフトボール、ゴルフ、グラウンドゴルフ、ゲートボール、女子バレーボール)の大会を開催した。 ②幅広い階層が参加しやすいニュースポーツ教室(ポッチャ、モルック)を5回開催した。また、ポッチャ交流大会を初開催した。 ③ビーチスポーツ教室(シーカヤック、スタンドアップパドルボード他)や水辺の安全教室を開催し、海を活用した生涯スポーツの普及活動を行った。 ④感染防止対策を講じながら若狭高浜はまなすマラソンを3年ぶりに開催した。また、各種大会への補助事業を実施した。
			成果	①スポーツ協会委託事業として7種目を計画し、感染防止対策を講じながら6種目を開催することができた。残り1種目の女子ソフトボール大会は、参加数不足で開催できなかった。 【スポーツ大会参加者数】延べ491名 ②運動習慣の定着や健康増進意識の向上につなげることができた。 【ニュースポーツ教室参加者数】延べ63名 【ポッチャ交流大会】4チーム ③町内団体との協働によりビーチスポーツ教室を2回、水辺の安全教室を6回開催し、高浜の自然環境を活かした生涯スポーツを普及することができた。 【ビーチスポーツ教室参加者数】延べ81名 【水辺の安全教室参加者数】延べ103名 ④町内外から多くの参加があり、競技スポーツの推進と高浜町の魅力発信を行うことができた。 【若狭高浜はまなすマラソン参加者数】603名 【青葉山トレイルマラソン参加者数】45名 【若狭高浜ジュニアトライアスロン参加者数】60名 他
3	体育施設の整備	A	実績	①中央球場ソフトボール側バックネットフェンスの改修工事を実施した。 ②中央球場管理用トラクターの除草ローターを購入した。
			成果	①中央球場の安全性と利便性を向上することができた。 ②中央球場におけるグラウンド管理の効率化を図ることができた。また学校体育施設でも活用することができた。

## 5. 郷土愛に満ちた文化創造の心を育てる文化振興

NO	重点方策	自己評価	区分	説明
1	郷土愛を育む教育	A	実績	①特色ある学校づくり活動(ふるさと学習)の一環として、県の環境保全団体(水士里ネットふくい)の方と、地域を流れる川(片間川)の生き物観察を実施した。 ②特色ある学校づくり活動(ふるさと学習)の一環として、雄谷(きじだに)古墳、二子山3号墳、吉坂壘壘を見学した。 ③特色ある学校づくり活動(ふるさと学習)の一環として、学校農園でキュウリやトマト等の作物を育てたり、水田での稲作を体験したりすることによって、食や農業の大切さについて理解した。 ④郷土資料館企画展(テーマ「粹導山城と逸見氏」「文化財を知る」)を開催(2回)した。 ⑤郷土資料館歴史講座(テーマ「応仁・文明の乱と戦国大名」「戦国期室町幕府と祇園会」)を開催(2回)した。
			成果	①②③小学生児童が地域を再認識する機会を提供することができた。 ④文化財を常設展示や企画展を開催することで、町民が貴重な文化財に直接触れる機会を提供することができた。 【企画展入館者数】261名 但し、施設・設備とも老朽化が著しく、この様な機会を今後も継続させていくことが困難な状況になっている。 ⑤新たに2回の歴史講座を実施し、歴史に興味を持ってもらう機会を設けると同時に郷土資料館活動の活性化を促すことができた。 【歴史講座入館者数】39名
2	町民の文化意識の高揚	A	実績	①文化会館施設の利用件数・利用者数は、794件、24,310人であった。 ②文化会館事業として、コロナ感染対策を講じながら、1件の町独自事業を実施した。 ③その他、町民の文化芸術意識を高め、情操を深める目的に加え、新型コロナウイルス克服記念とした文芸協会への委託事業(音楽鑑賞事業4回、展示事業1回、体験事業1回)、文化協会への補助事業(文化祭2回)を実施した。
			成果	①町民の文化意識、情操を深める一助とすることができた。 ②大ホールの新たな使い方提案などを広める事業を実施できたが、人口減少も進み、また施設の老朽化等も進行する中で、今後の施設のあり方を検討していく必要がある。 ③コロナ対策をしながら、広く、町民の文化意識を高める事業が実施出来た。
3	文化財の保存・継承・活用	A	実績	①指定文化財管理者へ補助金(中山寺本堂防災設備保守点検業務補助金ほか6件)を交付した。 ②逸見駿河守昌経公像移設工事を実施した。 ③「高浜町史 現代編」を刊行した。
			成果	①町内団体による文化財の保護継承活動を支援することができた。 【補助金交付件数・金額】7件 1,633,000円 ②中世の高浜を代表する逸見氏の歴史を伝えることができた。 ③高浜町の歴史や文化への理解を深める一助となり、新たな魅力の発見に繋がることができた。



#### IV 自己点検・評価シートに対する外部の知見（要約）

##### 1. 社会の中で信頼と尊敬を得る人間性を育てる学校教育

ア. 自己点検評価が適切と思われるかどうか？（適4名、否0名）

イ. 自由コメント

- ① 学校教育が抱える様々な課題を克服し、学校教育の充実を図るために様々な取組を実施した。特に、町費用単独採用講師や学習支援員、情報教育サポーターの配置、派遣等は、学校教育にとって大きな支えとなった。
- ② 確かな学力の定着は町費単独採用講師、又、学習支援員を配置され、きめ細やかな指導で学力の向上につながっている。豊かな心、健やかな身体の育成は、教育相談員やスポーツ指導者を配置され教育相談体制が整備されていて評価できる。
- ③ 講師・学習支援員・教育相談員等より、多くの目で子ども達を見守って行く体制が成果につながっていることが良く分かった。今後も加配は継続して欲しい。
- ④ 町費単独採用講師の配置については増員願います。
- ⑤ 内浦中学校へ「お金と金融の働きについての学習」が未実施なことについてフォローしていただきたい。
- ⑥ 大学院への教員派遣については、積極的に行っていただきたい。
- ⑦ 保育所現場と学校現場の連携が行き届いていないことをよく感じているため、1回ではなく数回行っていただきたい。

##### 2. 人権意識を高め、明るい町づくりに貢献する豊かな心を育てる人権教育

ア. 自己点検評価が適切と思われるかどうか？（適4名、否0名）

イ. 自由コメント

- ① 高浜町人権教育研究会の活動を積極的に支援した。  
各校における人権・同和教育をはじめ、ヒューマンサークルジュニアの継続的な活動により、児童生徒の人権意識が確実に高まった。

- ②ロシアのウクライナ侵攻は人権侵害が日常時に行われており、民間人の犠牲者も増え続けている。その中で、ウクライナの子ども達を支援するための募金活動に取り組みれたことは評価できる。又、人権に対する理解を深められたと思う。
- ③過去の問題から現在までの人権問題に触れる機会があり良かった。それらの活動と共に子ども達の身の回りに起こり得るSNS等の問題を、学校教育と連携して進めていけると良い。
- ④ユダヤ人救済やポーランド孤児受け入れの歴史の研修について、より積極に実施したらよいのではと考える。

### 3. 新しい時代を生きぬき、創造する知性と教養を育てる生涯学習の推進

ア. 自己点検評価が適切と思われるかどうか？ （適3名、否1名）

イ. 自由コメント

- ①町内各公民館がそれぞれ工夫を凝らし、地域住民のニーズに合った講座を開設した。
- ②放課後児童クラブの充実を図り、保護者が安心して就労できる環境を整備することが児童の心の安定にもつながった。
- ③4公民館において講座や体験活動など多方面にわたる事業があり、町民多数が参加し生涯学習が推進されている。
- ④公民館講座は、充実していると思う。
- ⑤放課後児童クラブの評価としては、支援員の子どもとのコミュニケーションスキルの向上が必要と感じており、「C」が妥当と考えます。支援員の研修機会の充実によるサービスの質の向上に期待します。

### 4. 青少年の健全育成とスポーツの振興

ア. 自己点検評価が適切と思われるかどうか？ （適4名、否0名）

イ. 自由コメント

- ①各種スポーツ少年団の活動支援やスポーツ教室の開催により、青少年の健全育成・生涯スポーツの普及に寄与した。
- ②スポーツ少年団活動は長く継続されており、青少年の心身の健全育成に努め

られている。競技スポーツ、生涯スポーツにおいては、人口減少により競技スポーツの弱体化が懸念される。

- ③ニュースポーツやビーチスポーツなどの普及活動が実施されておりスポーツの振興に努力されている。
- ④コロナの影響でいろいろと制限がありながらも、工夫されて多くの行事、活動ができていて、身体を動かしたい人々の希望に答えられていた。今年度への期待も高まっていると思う。
- ⑤より多くの地方の方々が、スポーツに触れる機会を設けて頂けるようPRをお願いいたします。

## 5. 郷土愛に満ちた文化創造の心を育てる文化振興

ア. 自己点検評価が適切と思われるかどうか？ （適4名、否0名）

イ. 自由コメント

- ①特色ある学校づくり事業を実施し、各学校独自の創造的な活動を支援した。この事業により各校の「ふるさと学習」が充実するとともに児童生徒の郷土愛が確実に高まった。
- ②碎導山城跡は、順路看板や曲輪などの説明、又、道の整備をされ誰でも簡単に登れるようになり、町外や県外からも見学に来られるようになった。今後も更に整備されて多くの方に知っていただき、高浜の歴史を学んでほしいと思う。
- ③郷土を知るための、見る、聞く、触れるなどの体験や講座の開設など、コロナの制限の中でも多くの活動ができていて良かった。このような地域学習に充てる時間数の確保については、教科学習の時間数が確保できる範囲内であれば、問題ないと思います。
- ④高浜町の自然、文化、歴史に触れる取り組みについて評価します。郷土資料館の老朽化対策として施設の建て直しなどではなく、各学校にて保管などでもよいのかもしれない。

## V 全体総括

高浜町教育委員会で実施する事業を、高浜町教育方針に基づき5つの項目に分類し、自己点検・評価を行い、その評価について外部の知見者の方に意見を伺いましたところどの項目に対しても概ね適当とのご意見を賜りました。今回の評価で得られた外部の知見と共に、この点検・評価結果を活かし、教育の諸課題解決に向け、常に問題意識を持ちながら新規事業・継続事業とも、その内容の強化と充実に努めていきます。

### 1. 社会の中で信頼と尊敬を得る人間性を育てる学校教育

学校運営をしていく教職員をサポートする人員を分野毎に配置することで、児童生徒に対するきめ細やかな指導や学力の向上に寄与していることや教育相談体制や研修体制についても評価を得ることができました。次年度も継続して人員を配置していく必要があると考えます。

しかしながら、金融教育のフォローや学校と保育所との連携の強化などの要望もいただき今後の課題となっております。

### 2. 人権意識を高め、明るい町づくりに貢献する豊かな心を育てる人権教育

ウクライナの子どもたちを支援するための募金活動や敦賀ミュージアムを訪問してのユダヤ人救済やポーランド孤児受け入れの歴史を学び人権教育について理解を深めたことが評価されました。

今後も多方面から人権教育を実施していくことが必要と考えます。

### 3. 新しい時代を生きぬき、創造する知性と教養を育てる生涯学習の推進

公民館活動については、各公民館の工夫や地域住民のニーズに合った講座が評価され、今後も継続して取り組んでいきます。

一方、放課後児童クラブについては、より質の高い受け入れ態勢への要望があり今後の課題となりました。

#### 4. 青少年の健全育成とスポーツの振興

スポーツ少年団の活動支援や青少年の健全育成・生涯スポーツの普及活動の実施が評価されている一方で、人口減少による競技スポーツの弱体化を危惧する意見もありました。

次年度においても感染状況を注視しながら、実施可能な手法を検討し、住民の運動習慣の定着を図れるよう取り組んでいきます。

#### 5. 郷土愛に満ちた文化創造の心を育てる文化振興

高浜町の自然、文化、歴史に触れる取り組みについて評価されました。今後も継続してふるさと学習を推進していきます。

#### 高浜町教育委員会

〒919-2292

福井県大飯郡高浜町宮崎第86号23番地2

TEL 0770-72-7724

FAX 0770-72-2889

e-mail gakkou-edu@town.takahama.lg.jp